

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、下記のような臨床医学研究を行っています。つきましては、御協力と御理解をお願い申し上げます。

この研究では、個人情報 を 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の受診者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら担当医師にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：聖路加国際病院 消化器内科 本田 寛和

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 消化器内科 本田 寛和

# 憩室出血の診断で大腸内視鏡を施行した方を対象とした

## 再出血の危険因子同定に関する研究

### 1. 研究の対象

2004年1月～2016年9月に当院で下部消化管出血の疑いで大腸内視鏡検査を受けられた方

### 2. 研究の目的・方法

当院では大腸憩室出血において内視鏡的バンド結紮術(EBL)を積極的に施行しています。当院中野らの報告では再出血率の低下など良好の成績が報告されています。しかし、当院石井らの報告では大腸憩室出血で実際に出血源が同定でき止血処置(EBL クリップ)が施行できる割合は3-4割と高くありません。また止血後30日以内の再出血(早期再出血)する患者さんも約1割いらっしゃいます。今回の研究では早期再出血の危険因子を同定することで、患者さんの再出血を起こさない機器の開発や入院期間の短縮の可否を検討いたします。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年3月31日までの予定です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、内視鏡所見、血液検査結果、カルテ番号 等

《試料》 なし

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

### 5. 研究組織

聖路加国際病院 消化器内科 本田寛和 小俣富美夫 池谷敬 白鳥安利

聖路加国際病院 公式ホームページ <http://hospital.luke.ac.jp/>